



# 高校生の保護者が知っておくべき 今どきのネット事情 **4** つのこと。

## 高校生はLINEやSNS のヘビーユーザー。

高校生の約9割がスマホを持ち、情報収集や部活、学校の連絡などでLINEやSNS をフル活用しています。

## 通話アプリなどでスマホの 平均利用時間が3時間超。

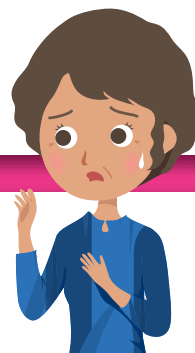
無料通話アプリやSNSでスマホの長時間利用が常態化。スマホ疲れで学業への悪影響が懸念されます。

### ■ 高校生のインターネット利用時間

高校生のネット利用の  
平均利用時間は3時間超  
**185.1分**

2時間以上  
**67.3%**

出典：内閣府 平成 26 年度青少年のインターネット利用環境実態調査報告書



## 保護者に内緒で不適切 サイトや課金サイト利用。

18歳未満のお子さんのケータイやスマホには、保護者によるフィルタリング設定が必要です。

## 「目立ちたい」、「人気者にな りたい」思いが安易な投稿へ。

SNSや動画サイトでのやんちゃ自慢、ネットいじめ、個人情報の投稿等、過去の投稿に後悔する青少年が増えています。

# スマホ利用の経験値が大人と変わらない時代、 社会人としてのスマホ利用のマナーを。

1

**親の目が届かなくなる年代だからこそ、気軽に相談できる関係づくりを心がけましょう。**

自分専用のスマホを所有すればトラブル遭遇リスクも増大します。お子さんが気軽に相談できる親子の信頼関係の構築が大切です。

2

**「ネットに投稿する」ことは責任が生じることについてお子さんと話し合しましょう。**

ネット投稿や流出した個人情報には容易には消去できず、進学、就職、結婚時など将来にわたって影響を及ぼす可能性があることをきちんと伝えましょう。

3

**お子さんが被害者にも加害者にもならないように、インターネット利用のマナー教育をしましょう。**

お子さんのネット投稿には、社会的な人格の未熟さゆえのリスクがあります。大人としての責任と常識を教えましょう。

4

**お子さん自身がネットとの付き合い方を振り返る機会を創りましょう。**

ネット利用についてきょうだいや友達同士で率直に教えたり教えられたりする環境づくりが、健全なネット利用の自覚を促すきっかけになります。



## 〈保護者管理機能でできる利用制限の例〉



### ●携帯ゲーム機、音楽プレイヤー

インターネットブラウザの利用制限、専用SNSサイトの利用制限、専用ショップでの購入制限、写真やテキストの送受信制限、他のユーザとのインターネット通信制限など



### ●スマホ

利用アプリの制限、アプリのインストール制限、フィルタリング、チャイルドロック、タイマー機能など

